

整理番号	14-1	事務事業名	エルフィンパーク活用事業		作成部署	エルフィンパーク 市民サービスコーナー	電話	376-8880
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	瀧本 明	課長職名	小貫 敬直	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H12	根拠法令等	道路法					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	北広島駅東土地区画整理事業で、JR線で東西に分断されている市街地の一体化や駅への交通機能充実のため、東西連絡橋(エルフィンパーク)を整備した。エルフィンパークを市民に憩いと集いの場として提供し、市民自らが多様な活動・交流を促進するとともに、行政サービス向上を図ることを目的に本事業を開始した。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い機能をもち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	市街地整備	(第1節)
	施策	駅周辺まちづくり	(第4施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民及びサークル	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	エルフィンパークを活用し、市民に多様な憩いと集いの場を提供するとともに、市民自らの活動や交流を促進するために市民やサークルによる展示などのイベントの場を提供する。さらに、市民サービスコーナーを活用し、戸籍等各種証明の交付などの行政サービスを提供し、市民サービスの向上を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	エルフィンパーク交流広場を利用したイベント、展示の実施。ポスター掲示板を活用した市民への様々な情報の提供。午前7時30分から午後7時30分までを業務時間とする市民サービスコーナーでは、戸籍謄抄本、住民票、印鑑証明の交付、交流広場利用申請の受付と許可、掲示板使用の申請と管理、検診受診申請など各種申請の受付、市内施設等の案内などの業務を実施している。
		17年度	同上 平成17年度から新たに、健康管理課業務の母子手帳の交付、体育課業務の学校開放申請の受付業務を行う。

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	5,549	5,520	5,505	5,505
	合計	5,549	5,520	5,505	5,505
人件費(概算)	人数(年間)	1.00	1.00	1.00	1.00
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	9,000	9,000	9,000	9,000
総事業費 +		14,549	14,520	14,505	14,505

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	交流広場延利用日数	501	505	510	520
	交流広場延利用団体数	103	149	151	154
	ポスター掲示板延利用枚数	1,180	1,259	1,260	1,260
	戸籍・住民票など証明発行件数	5,567	5,954	6,070	6,190
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	交流広場延利用率(延利用日数 ÷ 利用可能日数 × 100)	140%	140%	141%	143%
	戸籍・住民票など証明発行件数の伸び(対前年比)	102%	107%	102%	102%
	効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	指標の設定は困難			

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	交流広場は、利便の良さ、使用料が無料のため、多くの市民・サークルが展示、パザー、演奏会等の催事に利用している。掲示板は、JR駅の利用者、JRバス・中央バスの利用者などの多くの人に見てもらえることから上限の利用状況となっている。市民サービスコーナーにおける戸籍等証明の発行などの行政サービスは、利用時間が午前7時30分から午後7時30分までとなっていることから利用件数が年々増加しており、今後もこのような状況が継続するものと想定される。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市の窓口として市民に行政サービスを提供する施設であるので、市において実施すべき事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の集まりやすい場所で、市民に活動の場を提供し、様々な情報を提供するとともに、戸籍謄抄本、住民票、印鑑証明の発行などの行政サービスを時間を拡大して行うことは市民のニーズからも妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	エルフィンパークを活用して市民に活動の場を提供する、様々な情報を提供する、行政サービスを提供する現行の手段は適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	市民に多様な憩いと集いの場を提供し、市民自らの活動や交流を促進するためには、現行の受益者負担なしという方式は適切である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	市民に多様な憩いと集いの場を提供し、市民自らの活動や交流を促進するという当初からの意図には十分な成果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	必要最小限のスタッフにより業務を行っている現行の方法は十分に効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市民に多様な憩いと集いの場を提供して市民の自主的な活動を支援するとともに、行政サービスを時間を拡大して提供する現行の方法を今後も継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市民サービスコーナーでは平日の業務時間を拡大(7:30~19:30)して諸証明の交付や申請の受け付けなどを実施しているが、さらに、休日等の実施について検討する。